

1) システムの名称 :

SSI 看護支援システム

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

8. 看護・介護系

3) 特色 :

◆病棟のトータルサポートシステム

患者移動、患者情報収集、検温表、看護オーダ、看護計画、日誌といった病棟業務の支援を行う機能を有します。

◆オーダエントリとの連携による相乗効果を実現

医師のオーダエントリシステム(NEWTONS2)とシームレスに連携し、刻々と変化する各種オーダ情報をリアルタイムに共有することが可能であり、iPad等のモバイル端末、もしくはノートPCを利用したリスクマネジメントを実現し、その実施情報は医事会計システム(NEWTONS2)へ反映します。

逆に病棟で記録したバイタルデータや看護記録もリアルタイムに医師が参照することが可能となります。

◆ペットサイドでの情報利用

無線LAN端末の利用により、ペットサイドでの患者様の様々な情報(オーダ・実施・計測等)の入力・参照が可能となります。ノートPC・PDAを利用したリスクマネジメント機能を標準機能としてご提供しております。

◆看護計画立案をサポート

看護計画立案においてはマスターへ登録頂くことで、標準看護計画、NANDA、ゴードンといった様々な計画手法をご利用戴くことが出来ます。

◆標準機能

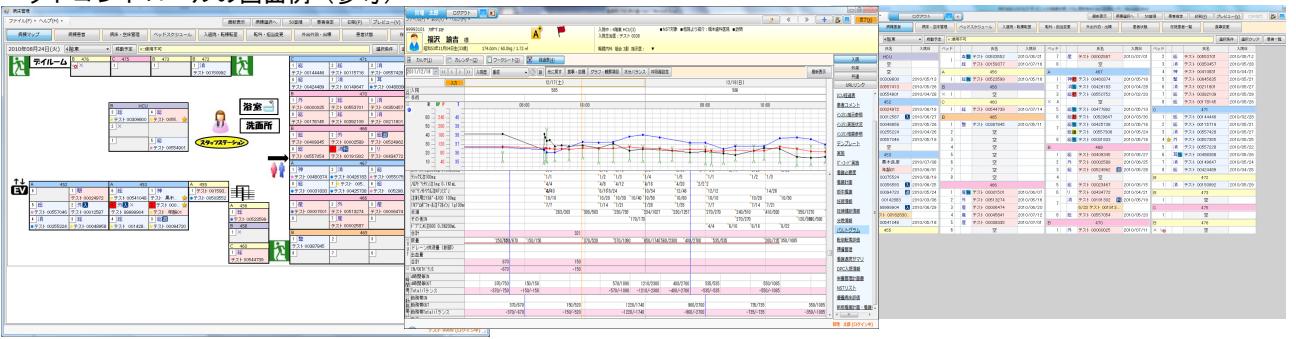
「看護必要度」や「転倒転落アセスメント」や「インスリンライディングスケール」や「褥瘡」の管理に特化した機能を標準機能としてご提供しております。

◆その他

勤務スケジュールでは勤務計画作成支援はもちろん、作成したスケジュールの病棟看護日誌へ自動反映します。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

ペットコントロールの画面例（参考）



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無 :

(1) マスター／コード体系

- MEDIS-DC 標準病名マスター(ICD10), MEDIS-DC 標準手術・処置マスター(ICD9CM), MEDIS-DC 看護実践用語標準マスター(看護行為編、看護観察編), レセプト電算コード, MEDIS-DC 標準歯科病名マスター(ICD10), MEDIS-DC 標準歯式コード仕様 (以上、標準で提供)
- MEDIS-DC 標準医薬品マスター(HOT番号), 医薬品業者社内医薬品マスター, 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード(JLAC10), JJ1017 画像検査コード Ver3, 患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター (以上、コードに対応)
- 処方・注射オーダ標準用法規格 (1回量処方運用時に標準提供)

(2) データ交換規約

- JAHIS データ交換規約(共通編) Ver1.2, JAHIS 基本データセット適用ガイドライン Ver3.0, JAHIS 病名データ交換規約 Ver.3.1C, JAHIS 処方データ交換規約 Ver.3.0, JAHIS 注射データ交換規約 Ver2.1C, JAHIS 放射線データ交換規約 Ver3.1C, JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver4.0C (以上、データ交換規約に準拠したHL7 Ver2.5形式でのデータ出力に対応)
- HL7J-CDA 電子紹介状及び患者診療情報提供書 規格 Ver 1.00に対応

(3) データ交換手法

- TCP/IP ソケット、SOAP、XML ファイル

(4) IHE-J コネクタソン

- Radiology (放射線) SWF.b/Order Placer
- Laboratory (臨床検査) LBL(Label Information Provider)  
LTW(Order Placer, Order Result Tracker)

・ Laboratory-MB (細菌検査) LTW-MB／Order Placer, Order Result Tracker  
・ IT Infrastructure (IT インフラ)  
ATNA／Audit Record Repository, Secure Application  
CT／Time Client, Time Server  
PAM／Patient Demographics Supplier, Patient Demographic Consumer  
Patient Encounter Supplier, Patient Encounter Consumer  
PDQ／Patient Demographics Supplier, Patient Demographic Consumer  
PIXV3／Patient Identity Source, Patient Identity Consumer, Patient Identity Cross-reference Manager  
PDQV3／Patient Demographics Supplier, Patient Demographics Consumer  
XCA／Initiating Gateway, Responding Gateway  
XDS.b／Document Consumer, Document Registry, Document Repository, Document Source  
※標準化への取り組みならび IHE 統合宣言書については、下記サイトをご参照ください。  
<http://www.softs.co.jp/business/standard.html>

(5) 標準化未対応の場合、対応可否および追加費用の有無記載

追加対応：可、追加費用：有

(6) 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合への適合事例

「厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合への適合事例 あり」

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| ・ HS001 医薬品 HOT コードマスター                                     | ・ HS005 ICD10 対応標準病名マスター            |
| ・ HS008 診療情報提供書(電子紹介状)                                      | ・ HS011 医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)      |
| ・ HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約                                   | ・ HS013 標準歯科病名マスター                  |
| ・ HS014 臨床検査マスター  | ・ HS016 JAHIS 放射線データ交換規約            |
| ・ HS017 HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携 指針(JJ1017 指針) |                                     |
| ・ HS024 看護実践用語標準マスター(一部対応)                                  | ・ HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン |
| ・ HS027 処方・注射オーダ標準用法規格                                      | ・ HS031 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様        |
| ・ HS032 HL7 CDAに基づく退院時サマリ規約                                 | ・ HS033 標準歯式コード仕様                   |

(8) HL7 適合性認定製品

(9) SS-MIX ストレージ利用範囲 ストレージ作成、データ連携（参照含む）

標準化ストレージ、拡張ストレージ（退院サマリ、診療情報提供書、医師カルテ、看護カルテなど）

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

- サーバ (OS, DB)：
  - ・ OS: Windows Server 2016
  - ・ DB: SQL Server 2016 Enterprise Edition
- サーバ（ハード）：メーカ指定特になし (HP、日立、DELL、レノボ、など実績多数)
- クライアント (OS) : Windows10
- クライアント（ハード）：メーカ指定特になし（推奨スペック指定はあり）

7) 稼動までに必要な作業・期間：

病院内システム委員会様及びシステム担当者様との打合せ、弊社システムの検証、運用の決定、操作練習、マスタ設定等・本稼動前 3 ヶ月～5 ヶ月（オーダリング導入期間も含む）、本稼動後 2 ヶ月は SE 常駐体制を継続

8) 価格：

システム規模により異なるため、要お問合わせ。参考例：200 床規模：1000 万円～（看護支援システムパッケージ費用 ※ ハードウェア、オーダリングシステム、医事会計システム、部門システム、ネットワーク等の費用は含まず）

9) 保守の内容と費用：

リモートメンテナンス保守（24 時間サーバ監視含む）

<保守内容>

- ① 提供済みプログラムの不具合対処
- ② 提供済みプログラムの機能アップ（バージョンアップ）
- ③ 法改訂に伴うプログラム変更作業及び薬価・行為マスターの提供
- ④ 誤操作、HW 障害時の回復指示及び作業支援
- ⑤ 業務変更・拡張に伴う、SW 面・HW 面でのコンサルティング
- ⑥ その他

<月額保守費用>

システム規模により異なるため、要お問合わせ。

10) 問い合わせ先：

開発・販売会社：(株)ソフトウェア・サービス

問い合わせ先：(株)ソフトウェア・サービス <https://www.softs.co.jp>

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-6-1 TEL : 06-6350-7222 ; FAX : 06-6350-7227

技術営業部 新規営業グループ info@softs.co.jp